

「躍動感」のある大学として進化し続ける ー大学ブランド・イメージ調査の結果を受けてー



国際交流に取り組む興動館プロジェクト



設営された屋外タペストリー



学内で開催した上映会にて、挨拶をする徳永ゼミの学生たち



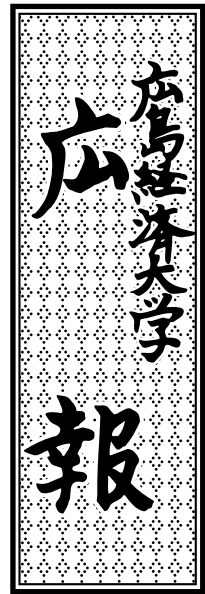
活性化対策のための現地調査を行う様子

大学ブランド・イメージ調査 中国・四国編で 中国総合4位、「躍動感」因子で首位！

令和元年11月27日に株式会社日経BPCコンサルティングが発表した「大学ブランド・イメージ調査（2019―2020）」の調査報告において、「中国・四国編（59校対象）」の「中国」大学ブランド総合力ランキング（ビジネスパーソンベース）で本学が4位にランクインし、前回の11位から大幅に躍進した。ここでは、本学のブランド力の背景について紹介する。

個性的な
教育が
高い評価に

「大学ブランド・イメージ調査（2019―2020）」（株式会社日経BPCコンサルティング）において、「中国」大学ブランド総合力ランキング（ビジネスパーソンベース）で本学が4位、「躍動感」因子で1位を獲得した。本学では、2006年より「興動館プロジェクト」と「興動館プロジェクト」からなる「興動館教育プログラム」をスタートさせた。以来、高い人間力を備えた「ゼロから立ち上げる」興動館を育成・輩出してきた。今回の「大学ブランド・イメージ調査（2019―2020）」では、本学独自の学びや学生たちの活躍が、高い評価につながった。近年では興動館プロジェクトに参加する



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号（082）871-1000（代）
オフィシャルサイト www.hue.ac.jp

2面	プロジェクト活動を振り返る
3面	進路・就職支援を振り返る
4面	令和元年度学位記授与式挙行／巣立ちの言葉
5面	広経大グッズ販売開始
6面	2020年度入学試験結果

学生が増えており、ますます活気を帯びている。興動館の創設10周年を迎えた2016年に「興動館教育プログラムNEXT10」を掲げ、これまでの教育のさらなる進化に取り組んでいる。

今回の結果について、興動館の石田真英副館長に話を聞いた。

「興動館教育プログラムでは、知識・スキルを磨く『興動館科目』と実践力を磨く『興動館プロジェクト』の2つの学びの相互作用で人間力を育成します。大学生活のなかで何かに真剣に打ち込み、さまざまなことに挑戦した学生は、自分の成長や変化を実感し、体験を自分の言葉で語ることができます。それは、就職活動で活かされるだけでなく、人生のさまざまな場面で自分を支える自信となります」

磨いた人間力をゼミでも発揮

興動館教育プログラムで磨いた力は、ゼミ活動や課外活動など、大学生活の学び方・過ごし方の質を高める力にもなっている。

例えば、経済学科の藤谷ゼミナールでは、島根県江津市桜江町のリゾート施設「風の国」の活性化対策に取り組む。施設を所有する株式会社第一ビルサービスに調査報告を提出した。現地の課題に対して「長期的対応」を提示した。

産学連携のさらなる強化へ

本学はこれまで社会の発展に貢献するさまざまな取り組みを産業界と連携して行ってきた。この取り組みをさらに加速させるべく、以前から連携を行ってきたオタフクソース株式会

社と包括連携協定を締結した。これにより、本学と同

て現れると思います。また、興動館プロジェクトに取り組んだ学生は、「主体的に行動すること」「困難なことでも挑戦すること」の必要性を実践のなかで経験し、理解しているため、何事にも一歩踏み出すスピードが速いと感じています。学部・学科・学年の壁を超えて同じ目的を持った多くの学生たちと活動していくことで、多様な考え方に触れ視野が広がると同時に、他者の考えを受け入れ、自分の意見をきちんと表現していくなかで「コミュニケーション能力」や「協調性」も自然と身につきます。こうした学生たちの活躍が、今回の調査の「躍動感」因子1位という評価につながったのだと思います。これまでの教育の確かな手応えを語った。

陸上競技場改修 第4種陸上競技場として継続公認



鮮やかなブルーに統一塗装された全天候型舗装路

学生たちの練習環境の充実と公認競技場継続のため、全天候舗装路の直線100m4レーンを6レーンに増設し、レーン幅・助走路幅を国際陸連の規定幅である1m220に合わせるなど、陸上競技場の改修が行われた。

併せて、跳躍専用の全天候舗装路も補修。この改修により、第4種陸上競技場として継続公認されることになった。継続公認されたことにより、広島経済大学記録会（陸連登録者なら中高生や他大学生及び社会人など誰でも参加可能）を継続して開催することができるようになった。今後もこの陸上競技場から素晴らしい記録が出ることを期待される。

を取り上げ、現代社会の課題に挑んだ作品となった。同学科の宮地ゼミナールでは、株式会社大和屋酒舗から屋外広告の依頼を受け、屋外タペストリーのデザイン企画・制作に取り組んだ。クライアントについて幅広く調査し、コンセプトを固めたことで、訴求力の高いビジュアルデザインのタペストリーが完成した。

こうした協定の締結により、大学・企業の双方にとって連携しやすい環境を整えることで、学生たちは広いフィールドで学ぶこ

とができる。今後もより実践的な教育・研究活動を推



協定書を手にする佐々木直義代表取締役社長（中央右）と小谷幸生学長（中央左）

進していく。



完成した手洗い場

カンボジアは1970年代の内戦により、多くの知識人を失い教育基盤が崩壊した。その影響が今なお続いている。2008年にスタートした「カンボジア国際交流プロジェクト」は、未来を担う子どもたちの教育面に着目し、学習用副読本の制作や衛生教育の普及に力を注いでいる。現地小学校では、手洗い場が完成した。

カンボジア国際交流プロジェクト 衛生教育を推進する「手洗い場」が完成！

プロジェクト活動 を振り返る

2019年 興動館

地域から日本へ、
日本から世界へ。
活動の幅をますます広げていく

プロジェクトのリーダーを務める山根怜人さん（ビジネス情報学科3年・広島県／広島翔洋高校出身）は「手洗い場が完成し、現地の方が嬉しそうに使用している姿を見て、大きな達成感が込み上げてきました。私たちの活動に賛同し、募金にご協力くださった皆さまにも心から感謝しています。手洗い場の完成をきっかけに、コンポントム教員養成学校の学生と共同で子どものための教育ツール『衛生教育キット』を製作することが決まりました。衛生教育をカンボジア全土に展開し、さらなる教育環境の整備に貢献したいと思っています」とこれまでと今後の活動について意欲的に語った。

さらに昨年度は、カンボジアを支援する輪を広げる目的で、ポランドのクラフ経済大学との3か年共同プロジェクトを発足させた。ポランドからの短期交換留学生が、本学在学中に副読本の制作を手伝うなど一緒に活動したことがきっかけで、同プロジェクト



「しゃべり場」で教職員と話し合う様子

トの取り組みに賛同・協力してくれることとなった。ポランドは、カンボジアと同じく知識人が虐殺された歴史をもち、広島と同様に負の世界遺産をもつことから、両国の戦後復興の過程を伝えることがさらなる支援の充実につながることを期待している。初めての共同事業として、ポランドの学生と共同で制作した教材を用いて、カンボジアで日本

とポランドにおける戦後の学校の復興について一緒に英語で授業を実施。山根さんは「今後は新たな副読本の制作を行いながら、広島、ポランド、カンボジアの若者が戦争や平和について共に考える場を作っていく」とやる気に満ちていた。カンボジア支援の輪は今後さらに広がっていく予定だ。

東日本大震災から9年。「あの日の出来事を風化させないこと」「命の大切さを見つめること」「東北の方々に笑顔にすること」を目的に掲げ、「東北支援プロジェクト」のメンバーたちは、被災地を毎年訪問している。訪問先で多くの方々に話を聞き、学んだことを広島県内の幅広い世代に伝えるために写真展や講演会、小学校での授業などを実施している。

2019年8月に宮城県と岩手県を訪問。現地での活動について、プロジェクトのリーダーを務める大石修平さん（経済学科4年・愛媛県／松山商業高校出身）に話を聞いた。

「震災を経験した方々に直接お話を伺い、命の大切さや防災意識の重要性を学びました。お話を伺うときに大切にしていることは、言葉や表情の変化を見逃さず、思いをしつかりと受け止めることです。その思いを、私たちが広島で伝えていくことで、多くの人が自然災害を『自分ごと』として捉え、防災意識を高めていくきっかけになれば嬉しいです。被災地には私たちが交流を毎年楽しみに待っていてくれる方々がいます。『来てくれてありがとうございます』『活動を続けてくれてありがとうございます』



震災遺構館「きぼう」で説明を聞く学生たち

がとう」と言っていた。大きなやりがいを感じます。辛い経験を話していただくことに心から感謝するとともに、ここでの出会いが私たちの人生の大きな学びになっていることを実感しています」と語った。

広島県内の小学校での授業は、これまでに4校で12回実施。子どもたちは「自分の命を大切にしたい」「いけなことがわかった」と、被災者の方々の思いをしつかりと受け止めていた。

また、写真展では、学生が現地を訪問して撮影した様子を展示し、「津波の恐ろしさを感じる」ことができたなどの感想をいただき、来場者に自然災害をより身近

なものととして考えてもらうことができた。

3月の講演会では、東日本大震災で消防官として人命救助に尽力された方や、2011年の西日本豪雨災害で人命救助に尽力された方を講師にお招きして、学びをどう行動に変えていくかについて考える企画を予定していた。時世に鑑み、講演会は中止となったが、学生たちの「伝えること」への使命感は一層強くなった。

経験と意思の伝承に終わりはしない。東北の学生たちとの交流や同じ志を持つ仲間とのつながりをさらに広げ、これからも活動を続けていく。

好きなこと

なことは何かをしつかりと見つめ直すようにと私はアドバイスする。

好きなことは自分の得意なことである場合が多い。好きこそものの上手なれ、である。そのため、就職活動に際して言えば、学生の好きなことを手掛かりに彼らに向いている仕事を探るので、好きなことが自覚できている学生にはアドバイスがしやすい。そして、就職したら退職するまで、働いている時間が大半になるため、もしも好きなことを仕事にできれば、こんなにかつてないくらい幸せなことではない。とはいえず、世の中の大多数の人が意に染まない職に就いているだろうし、好きなことは逆に仕事にしない方がよいという見方もあるだろう。しかし、たとえ好きなことを仕事にしない人でも、プライベートな時間に好きなことに没頭しているときは幸福感に満たさ

るはずだ。また、好きなことをするために必要なお金や時間を捻出しようと頑張ることが、収入アップや自身の成長につながる時期でもある。かくして、好きなことが自覚できている人は幸いであるという結論に至る。

ちなみに、私の好きなことは十指に余る。祖父祖母も両親も多趣味だったため、生まれて育った。基盤将棋盤、本釣、釣竿、油絵具、日本画の画材、日本舞踊の扇子、三味線俳句の雑誌、尺八、謡の楽譜、園芸用品、茶道用の小物、手描き友禅と染め物の道具、生け花用の剣山、書道用品等々。思い返してみると日本の伝統的な文化にかかわるものが多いが、これらのいくつかはそのまま私の趣味の道具



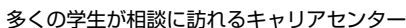
教養教育部 宮岡弥生 教授

随想

「あなたの好きなことは何ですか」卒業後の進路に悩んでいるゼミ生に、私はよくこう尋ねる。やりたいこと、ではない。やりたいことが答えられるくらいなら苦労はしないのだ。私の問いかけに間髪入れず「サッカーです」「釣りです」などと趣味を答える者もいれば、人と喋ること、物を作ることといった行動を挙げる者もいるが、即座に答えられる学生は安心だ。心配なのは、「うーん、何でしょう」と考え込む学生である。好きなことは特になく答えられない学生は、まず自分が好きな学生には、まず自分が好きな

「あなたの好きなことは何ですか」卒業後の進路に悩んでいるゼミ生に、私はよくこう尋ねる。やりたいこと、ではない。やりたいことが答えられるくらいなら苦労はしないのだ。私の問いかけに間髪入れず「サッカーです」「釣りです」などと趣味を答える者もいれば、人と喋ること、物を作ることといった行動を挙げる者もいるが、即座に答えられる学生は安心だ。心配なのは、「うーん、何でしょう」と考え込む学生である。好きなことは特になく答えられない学生は、まず自分が好きな学生には、まず自分が好きな

「学び」と「実践」で
学生の自信を育む



信頼関係を築き学生の意欲を高める

2 0 1 9 年 度

海外インターシッポの

また、ガイダンスでは毎回学生からのアンケートを回収し、その声を次回以降の進路・就職支援プログラムの活かす努力を続けている。こうしたきめ細かなサポートをすることで、学生からの信頼を得ることができている。

や適性を把握するために、3年次の後期にキャリアアセントリー職員が全員と面談をするほか、ゼミ担当教員とキャリアアセントリー職員が密に連携を図りながら、ゼミごとのサポートを強化する。ことで、学生一人ひとりに合った就職活動をサポートしている。さらに、多彩な進路・就職支援プログラムを毎年見直しながら、年間を通して実施しており、今後より良い情報提供・支援のあり方を追求し続けていく。

就職支援の徹底

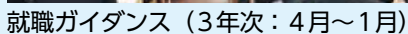
系企業で研修に取り組みたい。め、学生は語学力だけでなく、グローバルな視点で経済・経営を考える力が鍛えられる。現地の雇用状況や日本と海外のマネジメントの違い、海外から見た日本の技術力の強みなど、学生は多くのことを学び、成長して帰国した。帰国後も語学力強化のモチベーションを保てるよう、英検またはTOEICのスコアに応じて渡航費用の負担を軽減できる制度を設けていることも特徴だ。

2020年3月卒業生主な就職先一覧（順不同）

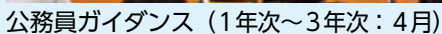
建設業	(株)島根電工(株)、(株)ソルコム、タモホーム(株)、(株)中電エ
製造業	ほか アイコム(株)、オタフクソーズ(株)、(株)なとり、(株)ウッドワン、(株)サイネックス、三甲(株)、西川ゴム工業(株)、ニチレキ(株)、湧永製薬(株)、尾張精機所、(株)ナガワ、(株)日本製鋼所、広島アルミニウム工業(株)、文化シヤッター(株)、(株)マキタ、三浦工業(株)、田中電機工業(株)、テンパール工業(株)、今治造船(株)、ダイキョーシカワ(株)、デルタエ業(株)、(株)ヒロテック、(株)ファーストティイリング、(株)レナウ ほか
電気・ガス・熱供給・水道業	広島ガス(株)
情報通信業	
運輸業・郵便業	(株)アンデルセンサービス(株)NTTデータ四国、(株)中国新聞システム開発、(株)ちゆりCOMひろしま、ディップ(株)、日本システムウェア(株)、(株)ハイレコン、ホームテレビ映像(株) ほか
卸売業・小売業	中国ジェイアールバス(株)、西日本高速道路パトリール(株)、(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本郵便(株)、羽田空港サービス(株)、(株)広交本社、マツダロジスティクス(株) ほか
飲食品・小売業	旭食品(株)、(株)コンセツク、(株)セイエル、(株)よんやく、青山商事(株)、(株)アクゼ、(株)アンドセル、(株)イズミ、(株)コスモス薬品、(株)コメリ、大黒天物産(株)、(株)大創産業、(株)ティーガイア、(株)ナフコ、はるやま商事(株)、(株)ハロー
金融業・保険業	(株)伊予銀行、岡三証券(株)、おかやま信用金庫、呉信用金庫、(株)東京証券、しまなみ信用金庫、東洋証券(株)、野村證券(株)、(株)広島銀行、広島県信用組合、広島県信用農業協同組合連合会、広島県信用保証協会、広島市信用組合、広島信用金庫、備後信用組合、(株)かんぽ生命保険、第一生命保険(株)、日本生命保険(相)、明治安田生命保険(相) ほか
不動産業・物品賃貸業	住友不動産販売(株)、ファーストリビング(株)、マツダエース(株)、とむぎん(株) ほか
生活関連サービス業・娯楽業	(株)アスカネット、(株)近畿日本ツーリスト中国四国、(株)ジ
教育・学習支援業	学校法人石田学園広島経済大学 サレバエ (他分野にもあるもの) ANAエアポートサービス(株)、岡山県商工会連合会、セコム(株)、(株)セレスポ、(株)デイスコ、(二社)日本自動車連盟(AF) ほか
公務	防衛省 航空自衛隊一般事務補佐生、国税庁 国税専門官、防衛省海上自衛隊 幹部候補生、愛南町役場、伊予市役所、広島県教員広島市教員、愛媛県警察、岡山県警察、警視庁(行政職)(公安職)、島根県警察、兵庫県警察、広島県警察、広島市消防局、山口県警察 ほか

令和2年3月18日現在

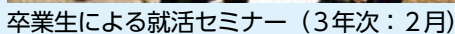
2020年度進路・就職支援プログラム



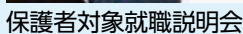
3 年次 4 月の準備ガイダンスを含め全 5 回、就職活動のステップアップに合わせて実施。学生の就職活動の進捗状況を確認しながら、必要な情報をタイムリーに提供。



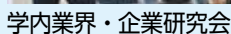
公務員を目指す学生を対象に公務員の魅力から、公務員の種類や仕事の内容、採用試験スケジュールや内容に至るまで丁寧に説明するガイダンス。



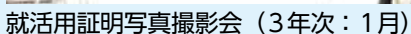
採用試験を目前に控えた学生が、各業界の第一線で活躍中の卒業生から、企業情報や今後の就職活動に向けてさまざまな助言・激励を受ける人気のセミナー。



(1年次～3年次保護者：6月、7月)
保護者の皆さまに現在の就職環境、就職活動スケジュール、就職活動の進め方などについて、最新の情報をお伝えする説明会。



(3年次: 2月、4年次: 5月、7月、10月)
本学学生に対する採用意欲の高い企業約400社を学内に招いて実施する業界・企業研究会。キャンパスで多数の企業と出会えるチャンスを提供。



プロのヘアメイクとプロのカメラマンを学内に招いて、履歴書やエントリーシート用の証明写真の撮影会を開催。

A large group of students, approximately 40-50 in total, are posing for a group photo in front of a large, red brick building. The building features a prominent, large archway in the center. A young tree with green leaves stands in front of the archway. The students are arranged in several rows, some standing and some kneeling or sitting in the front. They are dressed in casual attire, including jackets, sweaters, and jeans. The scene is set outdoors on a paved area, likely a courtyard or plaza. The building's architecture is characterized by its red brickwork and arched windows.

本学にて赴任してから早くも2年が経つ。ゼミの主な活動は、デザインの視座から日常生活のさまざまな問題について学生が主体的に研究することである。そして、研究成果を発表する場として、ブレゼミ・演習Iのゼミ生と近畿大学法学部のゼミ生との合同研究発表会を2年連続で実施している。本取り組みでは、「デザインと言語」をテーマとしたお互いの研究発表を通して学際的な交流を図るだけでなく、キャンパスツアーやフィールドワークなど、ゼミ生にとって貴重な経験が得られる学びの場と

用された。選考理由はゼミ生の地道な実地調査から生まれたそのデザイン案が「伝わる広告」として評価されたからである。

デザインにおいて大切なことはアイデアが生まれるまでのプロセスであり、その根幹には観察と気づきがある。教育においても同じ事が言えるのではないだろうか。常日頃から愛情をもつて学生と対峙すること、観察と気づきからより良い教育環境を実現できると信じている。

ゼミ活動を通して改めて実感したのは、本学には根が真面目で素直な学生が多い

なっている。昨年は成風館でも合同研究発表会を行い、相手方からその素晴らしい設備環境について大変羨ましがられたことが記憶に新しい。

また、昨年度は産学共同プロジェクトによる屋外広告(タペストリー)制作を実施した。その目的は、実際のビジネスの場を体験しながら、広告デザインについて学ぶことである。プレゼミ・演習Ⅰのゼミ生25名が参加し、ゼミ内選考審査で16点に絞ったアイデアの中から最終的に1点が屋外広告のデザイン案として採

いことである。また、職員の方々がいつも万全の態勢で彼らをサポートしているので、教育・学習支援の環境が整っている。この恵まれた環境を活かし、学生が本学に入學して良かったと心から思えるように、これからも全力で彼らをサポートし、教育と研究に邁進していく所存である。

(デザイン制作基礎、デザイン制作応用、情報デザイン論、ユニバーサルデザイン実践、大学入門ゼミ、興動人入門ゼミ、プレゼミ、演習Ⅰ、演習Ⅱほか)

令和元年度 学位記授与式挙行

学部581名、大学院11名が晴れの巣立ち
与式が厳粛に執り行われた。



卒業生を代表して旅立ちの言葉を述べる数井歩美さん

経済学科249名、経営学科195名、ビジネス情報学科41名、メディアビジネス学科32名が学士（経済学）に、スポーツ経営学科64名が学士（スポーツ経営学）に、大学院経済学研究科前期課程10名が修士（経済学）に、後期課程1名が博士（経済学）となった。学部及び大学院の代表が壇上に上がり、小谷幸生学長から学位記を受け取った。同時に教育職員免許状伝達も行われ、免許状が授与された。続いて、学業に優れ、他学生の模範となった卒業生に学長賞が贈られた。

式次第を簡素化して臨むなか、教職員たちは卒業生の新たな門出を祝福した。

学長式辞

皆さんの多くが入学した2016年4月から今日まで、国内外ではさまざまな大きな出来事がありました。変化の激しい時代を生き抜いていく皆さんに心掛けていただきたいことは、「一定の距離を置いて物事を眺める」ということです。目先のことばかりにとらわれず、一歩下がって視野を広げ、大局観を得ることに努めて欲しいと思います。そして、もうひとつ遠くから見るべき相手があります。それは「自分自身」です。人はとなく、自分だけは正しいという独りよがりになりがちですが、客観的に自分を見ることで、その誤りに気づくようになるのです。皆さんも、難しい判断を迫られたり、強

巣立ちの言葉

世界を見据えた
学びと経験が
成長する力に



厚田 健人さん
スポーツ経営学科
島根県／平田高校出身

私の大学生活には「広島経済大学だから経験できたこと」がたくさんありました。尊敬する先生や切磋琢磨して互いを高め合える友だちとの出会いはもちろん、留学やTOEICが800点に到達するなど、挑戦できるステージと充実したサポート体制があり、すべての経験が成長の力になりました。

特に力を注いだのは、英語の勉強です。高校では部活動中心の生活を送っていたので、大学では新しい分野で自分の可能性を広げたいと思い、英語の授業でコソコソ勉強を重ね、1年次後期にはシガポールへの体験留学に挑戦しました。現地では語学力を鍛えるだけでなく、現地の企業を訪問するなど、ビジネスの現場を間近に感じることもできました。また、世界規模のスポーツイベントの運営に携わってこれた濱口先生の話をシガポールで聞けたことも刺激になり、「将来は世界で活躍できる人になりたい」と思うようになりました。

帰国後は長期語学留学を次の目標に据え、英語担当教員の研究室を訪問して積極的に学んだほか、濱口先生の研究室を訪ね、グローバルな視点で世界を見ることの大切さなどを教えていただきました。先生方と話すなかで「世界を見据えて学ぶ楽しさ」を実感できたことが、意欲的に学び続けるモチベーションにもつながったと思います。

3年次には念願の長期語学留学に挑戦。ニュージーランドで半年間、語学や文化を学びながら、現地のサッカーチームに入ってスポーツを通じた国際交流の楽しさを体感できたことも良い経験になりました。また、さまざまな国の留学生と友だちになることで「多様性」を受け入れる力が鍛えられ、人としても大きく成長できたと思います。

卒業後はスポーツイベントの企画・運営を専門とする企業に就職します。大学で磨いた「英語力」や「グローバルな視点でビジネスを考える力」を活かし、国や人種を超えてスポーツの感動を広く伝えていきたいと思っています。

「学びと経験、すべてに感謝を込めて」

信念を貫き
好きなことに全力で
取り組む



土屋 圭さん
経営学科
愛媛県／松山商業高校出身

幼い頃に始めたサッカーを大学でも続けたいと思い、学業と両立できる環境が整っている広島経済大学を選びました。入部当初は、仲間たちとの実力の差を感じることもありました。この強豪チームで練習を重ねるなかで「何事も全力で打ち込み、継続する力」が鍛えられました。実力のある選手がたくさんいるなかで「どうしたら自分がチームの勝利に貢献できるか」を考え、自主練習でスキルを磨くことはもちろん、仲間とのコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築くことも、雑用なども自ら進んで行いました。プレイヤーとしてだけでなく、広い視野でチームのことを考え、小さな努力を継続することで、仲間からの信頼を得て絆を深めることができたと思います。

監督やコーチには、サッカーに限らずメンタル面や大学生活のことなど、さまざまな面で親身になって支えていただきました。以前の私は、試合や練習でミスすると気持ちを引かずしてしまふことがありましたが、監督やコーチが改善すべきところを的確に指摘し応援してくれたことで、すぐに気持ちを切り替えて前向きに練習に向かうことができるようになりました。3年次にはケガに悩まされて思うようにプレーできず、サッカー部を辞めることを何度も考えました。しかし、監督やコーチ、チームの仲間が支えてくれたおかげで再び試合に出ることができ、チームに恩返しするため4年次になる前に引退しましたが、就職活動を終えたあとにマネージャーとして復帰し、選手たちのサポート役に徹したことで選手としての視点からは見えなかったチームの魅力が見えたことも良い経験です。

卒業後は地元愛媛県に戻り、医薬品卸売の営業職に就きます。サッカー部で鍛えられた「あきらめずに継続する力」や「コミュニケーション能力」を活かして、地域の人々の健康に貢献したいと思っています。

仲間との出会いが
次の一歩を
踏み出す力に



吉田 昌美さん
メディアビジネス学科
広島県／広島工業大学高校出身

興動館プロジェクトの「中高生の夢・笑顔実現!!プロジェクト」で、学校から足が遠のいている児童・生徒に夢や目標を持ってもらうためのきっかけとなるイベントを実施する活動に力を注ぎました。工作や料理づくりなどの企画を年6回実施したほか、週2回は近隣の中学校での学習支援にも取り組みました。私も以前、学校から足が遠のいていた経験があり、その経験が今悩んでいる子どもたちに役立つかもしれないと考えたことがプロジェクトへの参加の理由でした。私たちのイベントに参加したことをきっかけに学校に通えるようになったという報告を聞いたときはとても嬉しく、大きなやりがいを感じました。

プロジェクト活動の仲間との関わりのおかげで、支え合うことの大切さも学びました。特に印象に残っているのは、興動館プロジェクトの学生が中心となって運営する「祇園・興動祭」で模擬店を企画し、リーダーを務めたときのことです。責任感の強さから私が一人で頑張るすきでいたときに、仲間が「もっと手伝えることはないか」と声をかけてくれて、「もっと頼っていいんだ。頼れる仲間がいるんだ」と実感しました。プロジェクト活動を通してさまざまな人と出会い、多様な考え方や価値観に触れたことで、相手を思いやり、寄り添う力が鍛えられました。互いを尊重し合える関わり方や伝え方を意識するようになり、「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に伝えることで、多くの仲間と信頼関係を築くことができました。ときには仲間と気持ちがずれる違い、悩んだこともありますが、興動館の職員の方々ととことん相談に乗ってくれたことが大きな支えとなり、「もっと成長したい」という次の一歩を踏み出す原動力になりました。あつという間に過ぎた大学生活でしたが、ここで学び、感じ、考えたことや、出会った人たちの思い出は、これから的人生を力強く進んでいく力になると思います。

卒業後は、広島空港で搭乗手続きや搭乗案内などを行うグランドスタッフの仕事に就きます。大学で磨いた「相手の気持ちに寄り添い、思いやりを持って接するコミュニケーション力」を仕事にも活かし、チームで協力してお客様の安心・安全な旅をサポートしたいと思っています。

HUE マイストーリー

4年次



学会の切実な課題を、自分たちの手で解決したいという思いで、TOEIC800点取得!

3年次



サッカー部の仲間たちと、海外で試合をする機会が、監督やコーチ、チームの仲間が支えてくれたおかげで再び試合に出ることができ、チームに恩返しすることができました。就職活動に集中するため4年次になる前に引退しましたが、就職活動を終えたあとにマネージャーとして復帰し、選手たちのサポート役に徹したことで選手としての視点からは見えなかったチームの魅力が見えたことも良い経験です。

2年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

1年次



サッカー部の仲間たちと、海外で試合をする機会が、監督やコーチ、チームの仲間が支えてくれたおかげで再び試合に出ることができ、チームに恩返しすることができました。就職活動に集中するため4年次になる前に引退しましたが、就職活動を終えたあとにマネージャーとして復帰し、選手たちのサポート役に徹したことで選手としての視点からは見えなかったチームの魅力が見えたことも良い経験です。

HUE マイストーリー

4年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

3年次



サッカー部の仲間たちと、海外で試合をする機会が、監督やコーチ、チームの仲間が支えてくれたおかげで再び試合に出ることができ、チームに恩返しすることができました。就職活動に集中するため4年次になる前に引退しましたが、就職活動を終えたあとにマネージャーとして復帰し、選手たちのサポート役に徹したことで選手としての視点からは見えなかったチームの魅力が見えたことも良い経験です。

2年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

1年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

HUE マイストーリー

4年次



サッカー部の仲間たちと、海外で試合をする機会が、監督やコーチ、チームの仲間が支えてくれたおかげで再び試合に出ることができ、チームに恩返しすることができました。就職活動に集中するため4年次になる前に引退しましたが、就職活動を終えたあとにマネージャーとして復帰し、選手たちのサポート役に徹したことで選手としての視点からは見えなかったチームの魅力が見えたことも良い経験です。

3年次



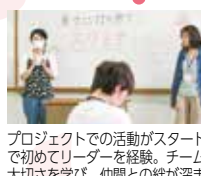
英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

2年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

1年次



英語の勉強に力を入れ、TOEIC800点取得! 留学先で英語の勉強を続け、TOEIC800点取得!

オープンキャンパス2020 開催のお知らせ

オープンキャンパス2020を開催します。模擬授業や個別相談、施設見学など、楽しいプログラムを用意して皆さまをお待ちしております。

6/14(日)・7/25(土)・8/22(土)・8/23(日) 10:30~15:30 (受付開始 10:00)



知る！
見る！
体験する！

〈問い合わせ先〉
入試広報センター
TEL.082-871-1313

中四国、県内遠方からは
無料送迎バスを運行します(事前予約制)



商品を手にする学生たち

令和2年2月、広島経済大学の公式グッズの販売が学生や教職員を対象に開始された。学章が刻印された革財布や大学の全景のイラストが描かれたマグカップ、大学名入りのシルク素材のネクタイ、USBメモリなど、大学カ

ラーをあしらった商品が並ぶ。陳列棚が置かれた売店前では早速、学生や教職員たちが通るすきりに足をとめて、商品を手にとる姿が見られた。グッズ制作に携わった職員は「こういったグッズから大学を身近に感じてもらい、より愛校心を

持ってもらえたら嬉しいです。今後は学生のニーズに合った商品も増やしていきたいです」と笑顔で語った。早くも新しいグッズへの期待の声が上っている。



広経大グッズ販売開始



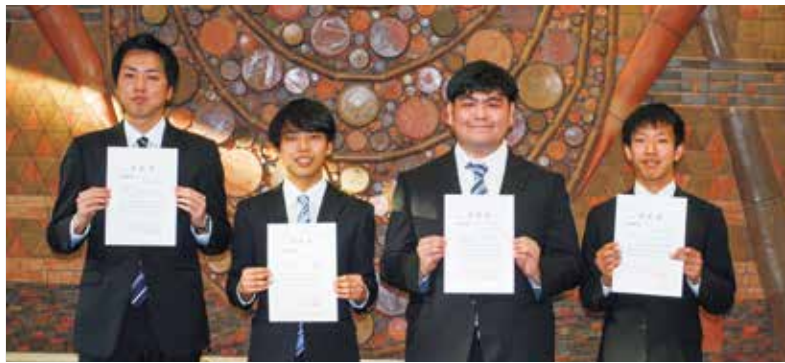
作成した新聞を手に石田優子副理事長と記念撮影をする子どもたち

臨時休校を受け 教職員の子どもを預かる取り組み開始

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う全国小中学校などの臨時休校を受け、石田恒夫理事長らの発案で、3月3日から19日まで、教職員の子どもを預かる取り組みを開始した。

小学生を本学図書館内のグループ学習室で預かり、中高生には図書館の利用を許可。図書館開館時間に合わせ、子どもを預ける教職員が交代でシフトを組み、テレワークをしながら見守った。

初日は小中学生8名が利用。勉強をしたり、学内を散策後に新聞を作成したりして過ごした。本学の建学の精神である「和」の精神が活きた取り組みとなった。



最優秀賞、優秀賞受賞者

令和2年1月10日、学生懸賞論文各賞の授与式が行われた。本学の学生懸賞論文は論文作成のプロセスにおいて技法の会得や教員とのコミュニケーションを図るなど、人間形成の場となるように企画されている。審査結果は以下のとおり。

▽最優秀賞(1編)
沖原孝(経営学科3年)
【論文題目】現代労働問題から考える欲求階層説の新解釈(指導教員:細井謙二)
▽優秀賞(3編)
塚原大輝(経営学科3年)
【論文題目】口コミにおける信頼と行動の関連性(指導教員:細井謙二)
小林孝太郎(経営学科3年)
【論文題目】なぜ日本ではスマートフォン決済の利用率が低いのか、バイアスによる消費者の行動の変化(指導教員:細井謙二)
正木湧基(経営学科3年)
【論文題目】ライブにおける過剰なグッズ購入とファンの心理が加速するデイドロ効果とバンドワゴン効果(指導教員:細井謙二)
▽奨励賞(7編)
佐藤美月(経営学科4年)
【論文題目】音楽サブスクリプションはキャズムを超える原因とコンコルド効果とストリーミング市場の変化(指導教員:細井謙二)
阿部加奈子(経営学科4年)
【論文題目】チケットの違法転売の現実(指導教員:中嶋則夫)
甲田稀絵(経営学科3年)
【論文題目】なぜ第3次タピオカブームは長期化しているのか、店舗行列が引き起こすバンドワゴン効果(指導教員:細井謙二)
川本拓矢(経営学科3年)
【論文題目】高齢化によるフードデザート問題解決に向けて、移動販売による対策(指導教員:細井謙二)

宮内啓輔(経営学科3年)
【論文題目】あり運転による怒り心理学との関係(指導教員:細井謙二)

原田友結(経営学科3年)
【論文題目】学生の講義中の居眠りを促す原因とコンコルド効果とストリーミング市場の変化(指導教員:細井謙二)

柳田遥香(経営学科3年)
【論文題目】店舗を持たない「D2C」ファッションブランドによるダイレク



奨励賞受賞者



学長表彰者

学長表彰者

▽学長表彰者
●TOEIC(800点以上) 平野亜喜(スポーツ経営学科4年)、福田勇人(メディアビジネス学科3年)
●TOEIC(700点以上) 津山伸哉(経済学科4年)、村上翔悟(経済学科3年)
●宅地建物取引士 山口大志(経済学科4年)、伊達康祐(経営学科4年)、福島光明(経営学科4年)
●ファイナンシャルプランニング技能検定2級 小保順(経済学科3年)、河原弘貴(スポーツ経営学科3年)、政屋志優人(経済学科2年)、林天晴(経営学科1年)
●TOEIC(500点以上) 井町尚之(ビジネス情報学科4年)、NGUYEN QUYNH(経営学科3年)、矢野雅季(経営学科2年)、阿波村艶名(経済学科1年)

●ITパスポート 政田祐司(ビジネス情報学科3年)
●販売士2級 野村賢裕(経済学科3年)

○ESVR(eisports&VR)同好会
▽全日本eスポーツ学生選手権大会(BS11CUP 東京オンライン本選) 西川智規
○陸上競技部
▽第50回記念防府読売マラソン 木邑駿(14位)・谷澤泰輝(20位)
▽東京マラソン2020エリート枠 木邑駿(93位)・谷澤泰輝(103位)
○男子サッカー部
▽第34回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会 中島豊樹・今田海斗(大会中止)
○女子サッカー部
▽第20回大学女子サッカー地域対抗戦2020 玄行佳奈(大会中止)



学部長表彰者

令和元年度後期資格表彰者

(学年は表彰当時のもの)

サークル戦績

令和元年度後期資格表彰者

●学部長表彰者
●TOEIC(800点以上) 平野亜喜(スポーツ経営学科4年)、福田勇人(メディアビジネス学科3年)
●TOEIC(700点以上) 津山伸哉(経済学科4年)、村上翔悟(経済学科3年)
●宅地建物取引士 山口大志(経済学科4年)、伊達康祐(経営学科4年)、福島光明(経営学科4年)
●ファイナンシャルプランニング技能検定2級 小保順(経済学科3年)、河原弘貴(スポーツ経営学科3年)、政屋志優人(経済学科2年)、林天晴(経営学科1年)
●TOEIC(500点以上) 井町尚之(ビジネス情報学科4年)、NGUYEN QUYNH(経営学科3年)、矢野雅季(経営学科2年)、阿波村艶名(経済学科1年)

●ITパスポート 政田祐司(ビジネス情報学科3年)
●販売士2級 野村賢裕(経済学科3年)

○ESVR(eisports&VR)同好会
▽全日本eスポーツ学生選手権大会(BS11CUP 東京オンライン本選) 西川智規
○陸上競技部
▽第50回記念防府読売マラソン 木邑駿(14位)・谷澤泰輝(20位)
▽東京マラソン2020エリート枠 木邑駿(93位)・谷澤泰輝(103位)
○男子サッカー部
▽第34回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会 中島豊樹・今田海斗(大会中止)
○女子サッカー部
▽第20回大学女子サッカー地域対抗戦2020 玄行佳奈(大会中止)

担当科目
ビジネスデータ分析ほか


教授
たうら げん
田浦 元

担当科目
経営戦略論ほか


教授
おかもと やすあき
岡本 康昭

担当科目
メディアと法ほか


教授
いのうえ ひでゆき
井上 英之

◆教育職

〈令和2年4月1日付〉

新任

担当科目
メンタルヘルス論ほか


准教授
かみて こうじ
上手 幸治

担当科目
出版メディア論ほか


准教授
あべ じゅん
阿部 純

担当科目
広告論ほか


教授
みやた しょうご
宮田 庄悟

担当科目
デジタルビジネス論ほか


教授
みぞした ひろし
溝下 博

担当科目
ミクロ経済学基礎Ⅰほか


助教
まつえ とよき
松榮 豊貴

担当科目
日本語文章表現ほか


助教
さかみず たかし
坂水 貴司

担当科目
教育原理ほか


准教授
まえば ゆうさく
前馬 優策

担当科目
経営学概論ほか


准教授
ふくだ しょうたろう
福田 正太郎

◆教育職

〈令和2年4月1日付〉

昇任・昇格

岡安功【准教授】

総務部管財課


中畑 智博

総務部管財課


立石 一成

入試広報センター


伊與木 志保

◆事務職

担当科目
必修英語AⅠほか

中川 梓

◆異動

〈令和2年1月14日付〉

山村耕一郎【准教授】重篤美【総務部管財課】藤井野裕美

◆事務職

〔キャリアセンター〕香川文絵 課長補佐〔法入部〕黒瀬孝文 課長補佐〔興動館〕土田晃輔

〈令和2年4月1日付〉

〔法人部〕向井岳司 課長〔学務センター〕向井岳司 課長〔友松修次郎 図書館〕岡田浩典 部長〔教育・学習支援センター〕平井香巻 係長〔地域経済研究所〕瀬戸麻由佳 主任

◆役職変更

〈令和2年4月1日付〉

◆事務職

〔総務部総務課参事兼情報センター参事〕木村邦彦

◆退職

〈令和2年3月31日付〉

◆教育職

〔教授〕高岡義幸・中野安雄・松井一洋・森田裕司

2020年度 入学試験結果					
■ 2020年度 AO、推薦、一般、センター利用入試試験結果					
入試制度	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(A)(人)	合格者数(B)(人)	競争率(A/B)
AO入学試験	20	46	45	9	5.0
推薦入学試験	350	908	908	602	1.5
一般入学試験	1期	280	1,665	568	2.8
	2期	55	515	272	1.8
センター利用入学試験	1期	110	926	573	1.6
	2期	35	145	108	1.3
計	850	4,205	4,139	2,132	

卒業生の皆さま
広島経済大学ホームカミングデー開催のお知らせ

経大祭 同時開催

ホームカミングデー

2020年10月24日(土)
11:00～16:00(受付開始11:00)
受付：広島経済大学 明徳館

特典
広経大オリジナルグッズ進呈

第50回広島経済大学同窓会総会開催に合わせ、ホームカミングデーを開催いたします。当日は第53回経大祭も同時開催。思い出のある母校で懐かしい友人や教員と旧交を温めながら母校の「今」を感じてください。ご家族、ご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

問い合わせ先：総務部 総務課 TEL.082-871-1000

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第42巻 第3号 (2020年3月)
前川 功一教授 退任記念号

前川 功一教授 写真・略歴・業績
前川 功一先生のご退任によせて 一橋 信之(教授)

【依頼論文】
Heterogeneous Autoregressive モデル
—サーバイと日経225株価指数の実現ボラティリティへの応用—
渡部 敏明(一橋大学経済研究所長・教授)

【論 説】
レバレッジ・リキャピタリゼーションによる財務戦略は
株式価値を高めるのか?—理論的検討と事例分析— 重本 洋一(教授)
投資主別における株式需要の分析 得津 康義(教授)
自動車産業のサプライチェーンにおける
複合要因によるブルウィップ効果に関する解析 丹羽 啓一(教授)
上野 信行(教授)

バーゼル規制の導入と中国商業銀行のリスク管理
馮 萌芸(広島経済大学大学院博士課程後期課程)
西脇 廣治(教授)

【研究集会報告】
出生時体重がその後の成果に与える影響
経済研究論集 第42巻 総目次 山根 智沙子(准教授)

◆広島経済大学研究論集 第42巻 第3号 (2020年3月)
【論 説】
資本主義はなぜ、集団スポーツを産んだのか(2/2) 内海 和雄(名誉教授)
台湾における憲法改正の進展と文化権の交錯 宮畑 加奈子(教授)
日本の相続法における自筆証書遺言の諸問題に関する研究 餅川 正雄(教授)
Exploring the Role Perceptions of University English Teachers:
A Comparison Between Japanese and Non-Japanese Teachers
Hiroshi Moritani(講師)

【資 料】
Die militärischen Ruinen um den Hafen Ujina vor dem Zweiten Weltkrieg
—Begleitend zur Exkursion des Zentrums der Logistik der Militärstadt Hiroshima—
第二次世界大戦前の宇品港周辺の軍事遺構
—軍都広島への兵站拠点を現地見学するための手引き— 竹林 栄治(准教授)
研究論集 第42巻 総目次

学生の皆さんへ

『論集』には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

山村耕一郎【准教授】重篤美【総務部管財課】藤井野裕美

◆事務職

〔図書館長兼地域経済研究所部長〕西川英治〔地域経済研究所次長〕大内和名譽教授
戸田千之(とだちゆき)

計 報

令和元年11月9日、逝去された享年83歳。平成9年4月本学に就任。平成19年3月に退職され、本学の名譽教授とな

保護者様向け
メールマガジン配信中
(通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから「保護者の方」をクリックしてください。



合田優子講師が博士号を取得

令和2年3月3日、教養教育部合田優子講師が博士(学術)の学位を取得した。



合田 優子 講師

本論文において英語の動詞 must を命令文や have to 等と比較した。先行研究の問題点を指摘し、可能世界意味論と言語行為理論の融合を図り、考察と分析を行った。最終的に勧誘的用法の must を含めた意味形式を提案している。広島大学大学院総合科学研究科に学位論文を提出。結果として、学位を取得した。

論文題目
「可能世界意味論と言語行為理論から捉えた根源的モダリティ must の研究」

本学図書館
所蔵書物紹介コーナー

知の系譜 No.47

ボイル「空気に関する物理学的な新実験」初版
1660年 オックスフォード刊
Boyle, Robert, 1627-1691.
New Experiments Physico-Mechanical, Touching the Spring of the Air, and its Effects.
Oxford: H. Hall for T. Robinson, 1660.

17世紀イギリスの科学者、ロバート・ボイルが最初に出版した科学に関する著書である。空気の特徴や性質を証明した本書は大きな注目を浴び、実験科学という新しい領域を開拓した。
ボイルはアイルランド貴族の家に生まれ、上流階級の子弟として、古典教養やラテン語を学んだ。科学に興味を持ったきっかけは、ロンドンで出会った「インビジュアル・カレッジ」という科学者グループである。現存する最も古い科学学会「ロイヤル・ソサイエティ」の前身となるこのグループに加入したことで、彼は新しい学問への関心を深めていった。
さまざまな器具を備えて本格的な実験に取り組み始めた頃、後に『顕微鏡図』で有名になるロバート・フックを実験助手として雇い、フックが製作した空気ポンプを使って真空に関する実験を行った。その結果、空気は音を伝え、炎を燃やし、生命を保つために不可欠であり、またバネのような性質を持つことを明らかにした。この一連の実験報告を発表したものが本書である。
科学者としての名声を確立したボイルは、1662年に刊行した第2版で、気体の圧力と体積の関係で知られる「ボイルの法則」を証明した。その後も新たな実験を次々に行い、詳細な実験報告を多数の著書として残して、近代科学の父と称されている。

